

山科区フラワーロード推進事業

山科区が花で華やかに！

「山科区フラワーロード推進事業」の一環として、夏本番を迎える前の6月に、花と緑のまちづくりサポーター（ボランティア）の皆さんにより、区役所、東部文化会館、JR山科駅前の各花壇にポーチュラカ、ペゴニアなどを植栽しました。今後、白、赤、ピンクなど色鮮やかな花が咲き誇り、訪れる人の目を和ませてくれるでしょう。



花を植える団体に肥料の助成を行います

花苗や種の植え付けを行う団体に肥料（年額3,000円以内分）を助成します。

- 対象 / 公共用地や多くの方が鑑賞できる所に花苗、種の植え付けを行う5名以上の団体
- 定員 / 10団体
- 申込方法 / 7月20日(金)から、先着順。申請書※に、記入のうえ、郵送（〒607-8511（住所不要）まちづくり推進担当）または持参。※申請書は区まちづくり推進担当で配布、区ホームページに掲載。
- 問合せ先 / 区まちづくり推進担当（☎592-3088）



山階小学校 創立140周年記念祝典が開催されました

山階小学校創立140周年を記念して、6月9日(土)に記念祝典が開催されました。同校は明治5年5月6日に西本願寺山科別院において東野校として開校されて以来、140年という歴史を誇る山科区で最も古い小学校です。

祝典当日は、同校5・6年生の

児童が「山階校のたからもの」を発表するなど学区関係者が多数出席し、記念行事が盛大に行われました。

●問合せ先 / 区まちづくり推進担当（☎592-3088）



陵ヶ岡消防分団が市消防団総合査閲で日頃の訓練成果を発揮!!

京都市消防団総合査閲が6月3日(日)に京都市消防活動総合センター屋外訓練場で開催されました。

山科消防団からは陵ヶ岡消防分団が参加し、消防団員として必要な規律や礼式、小型動力ポンプを使用した消防訓練などを披露、優秀な成績を収められました。

●問合せ先 / 山科消防署（☎592-9755）



平成24年度 山科ふれあい体験農場参加者募集

ベテラン農家の指導のもと、九条ねぎなどの秋冬野菜を栽培しませんか。

●日時 / 平成24年9月～平成25年3月(予定)

●場所 / 西野山欠ノ上町の農地等

●対象 / 京都市在住で、平日の栽培研修会に参加いただける方

●定員 / 45名 ●費用 / 2,000円

●申込方法 / 8月3日(金)(消印有効)まで。往復はがきに「山科ふれあい体験農場応募」と明記し、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入のうえ、〒612-0873伏見区深草瓦町61の申込先まで郵送ください。(申込多数の場合は抽選)



※栽培研修会は平日に実施します。会場への車での来場はお断りします。研修会に参加出来ない方及び日々の作業が行えない方には、参加をお断りすることがあります。

●申込・問合せ先 / 東部農業振興センター（☎641-4340）

山科区民ソフトボール大会

5月27日(日)に第36回山科区民ソフトボール大会が、勸修寺公園グラウンドで開催されました。

快晴のもとに11学区の体育振興会チームが出場し、白熱した試合が繰り広げられ、小野学区が2年連続の優勝に輝きました。

優勝した小野体育振興会チームは7月22日(日)(雨天時7月29日)に岩倉東公園グラウンドで行われる京都市大会に山科区代表として出場されます。

- 優勝 小野体育振興会チーム
 - 準優勝 陵ヶ岡体育振興会チーム
 - 三位 大宅体育振興会チーム
 - 三位 西野体育振興会チーム
- 問合せ先 / 区まちづくり推進担当（☎592-3088）



発掘! 山科の魅力 “ええところ・ええもん”

第5回 山科の石碑

山科には、先人たちの偉業や、思いやりの心をたたえ、後世まで残していこうとした石碑が数多く残っています。これらの石碑からは、当時の人々のきずなの強さがしのべれます。

名号碑

日ノ岡バス停の西側に、「南無阿弥陀仏」と彫られた大きな石碑が目に入ります。これは、江戸時代の享保二(1717)年に、旧東海道の日ノ岡峠道の改修にあ



たった木食正禅が、刑死者の供養のため刑場の向かい側に建てたものです。明治初年の廃仏毀釈のとき、切断され放置されていましたが、昭和8年の京津国道(三条通り)改良工事の際に出土したのをきっかけに、復元され、位置を替えて現在地に建てられました。

山科疏水の完成と共に、疏水の水を引いて山科の田畑を潤そうと、3本の分水路がつくられました。これを記念し、



「音羽分水路」(洛東用水)の石碑が音羽病院敷地内に、「北花山水路」(東山用水)の石碑が北花山の渋谷街道沿いにそれぞれ建立されています。分水路の完成によって、山科の人々は長年の水不足から解放され、その後、現在に至るまで、山科の農業に欠かせないものとなっています。

熊谷蓮心表徳碑

東野・西雲寺の門前に、熊谷蓮心表徳碑が、ひっそりとたたずんでいます。熊谷蓮心は、江戸時代に、寺町姉小路門で筆墨業を営んでいた人で、東野村



に、年老いて農耕に使えなくなった牛馬が余生を過ごせるよう、牛馬放牧場を作ると共に、洪水で悩まされた村を救うなど、地域の発展にも寄与しました。この石碑は、蓮心の功績を顕彰しようと、東野村民が建立したものです。

この他にも、三条通から四ノ宮川沿いに南下したところに、文学者志賀直哉が大正時代に住んでいたことを示す「志賀直哉旧居跡碑」や、地下鉄御陵駅の出入口に、疏水を建設するための煉瓦工場がこの付近にあったことを示す「疏水煉瓦工場跡碑」など、山科には数多くの石碑があり、それぞれが、先人たちの熱い思いを伝えています。

●問合せ先 / 区まちづくり推進担当（☎592-3088）